

# 大内まちづくり協議会だより



vol.19

2020年3月

発行：大内まちづくり協議会

〒753-0221 山口市大内矢田北一丁目10番11号（大内地域交流センター内）TEL：050-1265-7063 FAX：083-927-0473

## 第2回 大内地域の防災を考える会



令和元年12月8日に、地域住民の防災に関する意識を高めるとともに、互いに協力し助け合う地域づくりをめざすことを目的に、大内小学校の体育館で、大内地域の防災を考える会を行いました。

昨年度は、大学教授を招いて専門的な話を聴きましたが、今回は、地域の現状を知り、より身近な防災対策を考えようとする市の総合浸水対策」についての説明や、地域の防災士である瀧川 勉氏による「自分の命は自分で守る」という演題での講演がありました。

その後、「災害から自分の命を守るには」というテーマで、パネルディスカッションを行いました。

会の後に回収したアンケートには、講演が分かりやすかった、パネルディスカッションでのパネルの意見が具体的に内容の濃いものであった、という意見が多く、参加者にとっては、概ね好評でした。

しかしながら、実施日が12月8日であったため、体育館で講演を聴くには大変寒かったという声が多く、次回は開催期日を検討しなければならないと思いました。

## 各 部 会 の 活 動

### ◆地域振興部会



じんけん学習まちづくり大会



意見を述べた小・中・高生



大内の四季風景カレンダー

### ◆生活環境部会



休耕田の活用



不法投棄防止運動(大内畑)

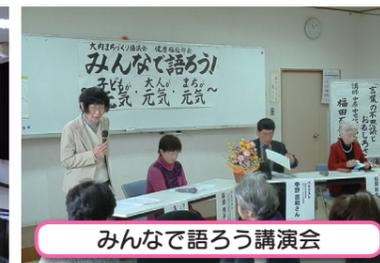
### ◆健康福祉部会



元気あっぷボディ健康講座



子育て応援講座



みんなで語ろう講演会

### ◆文化教養部会



食農教育(園児による芋掘り)



コドモジカン(中村地区)



大内史跡探訪会

### ◆安心安全部会



大内っ子まもる日(大内小)



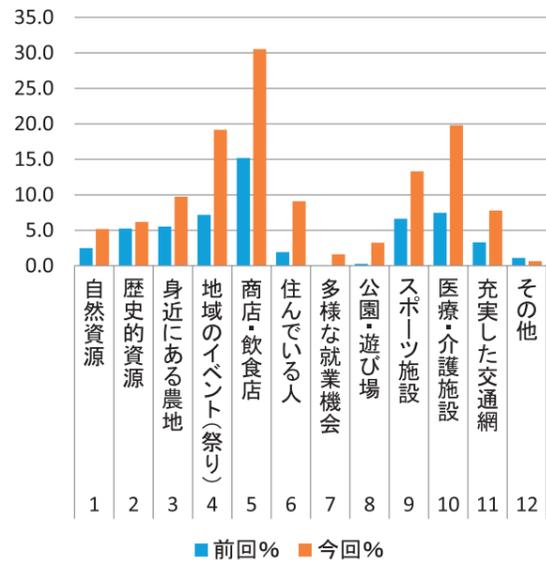
大内っ子まもる日(大内南小)



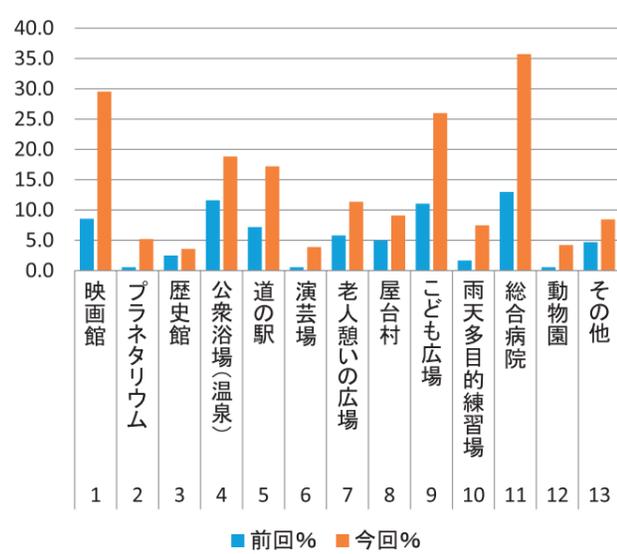
交通安全教室(ナイトスクール)

# 第3期大内まちづくり計画策定のためのアンケート結果から

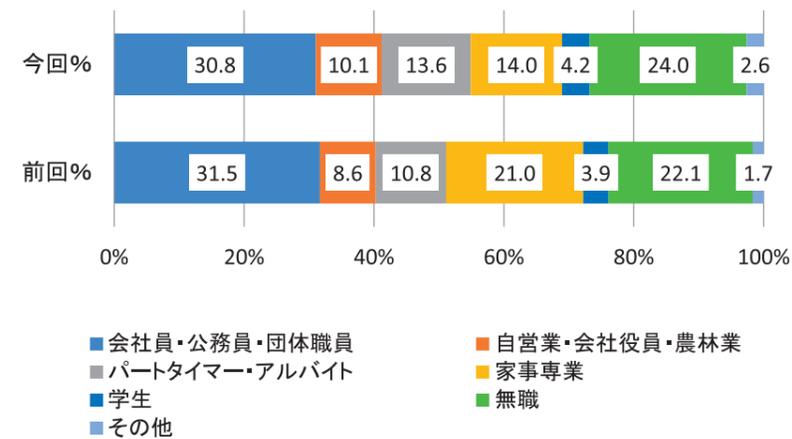
## 問24 大内地区内にある自慢に思うもの



## 問25 大内地区にあったらいいと思うもの



## 回答者の職業



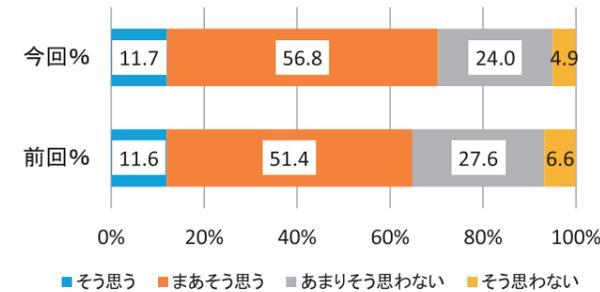
第3期大内まちづくり計画(令和3~7年度)を策定するため、昨年9月に策定委員会を立ち上げ、10月に、大内住民1000人を無作為に抽出して住民アンケートを実施しました。  
アンケートは、前回(5年前)と比較できるように、できるだけ質問項目を同じにしました。  
左のグラフは、回答者の職業を尋ねていますが、家事専業者がポイントも減少していることが分かります。このことから、共稼ぎ世帯が増えている現状が見えます。以下に、アンケートの一部を抜粋してお示しします。

## 問25 大内地区にあったらいいと思うもの 年代別順位

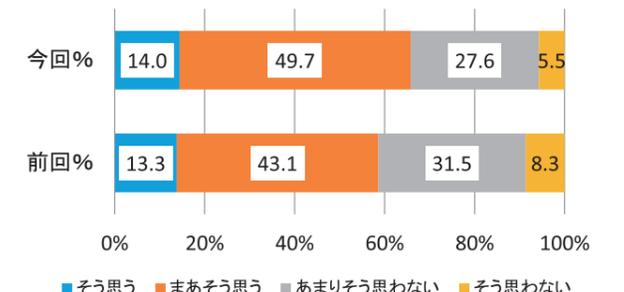
年代	1位	2位	3位	4位	5位	6位
10代	映画館	子ども広場	公衆浴場・道の駅・総合病院			雨天多目的練習場
20代	映画館	子ども広場	公衆浴場	総合病院・動物園・プラネタリウム		
30代	子ども広場	映画館	公衆浴場	総合病院	その他	道の駅
40代	映画館	子ども広場	総合病院	屋台村	特になし	その他
50代	映画館・総合病院		公衆浴場	屋台村・子ども広場・その他		
60代	総合病院	公衆浴場	道の駅	子ども広場	老人憩いの広場・映画館	
70代~	総合病院	公衆浴場	道の駅・特になし		映画館	老人憩いの広場

問24と問25については、前回調査ではどれか1つを、今回調査では複数回答可としたため単純比較はできませんが、問25の地域にあったらいいものでは、第1位が総合病院、次に映画館、子ども広場と続いています。

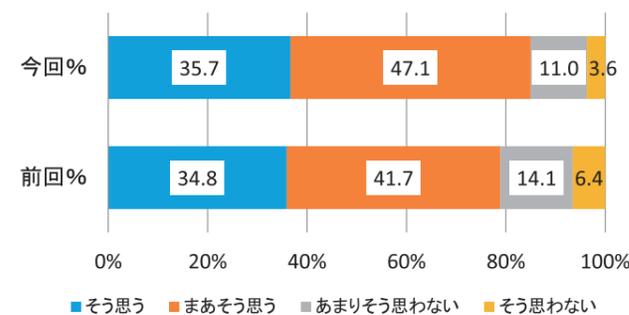
## ① 地域のまともりは良い方だ



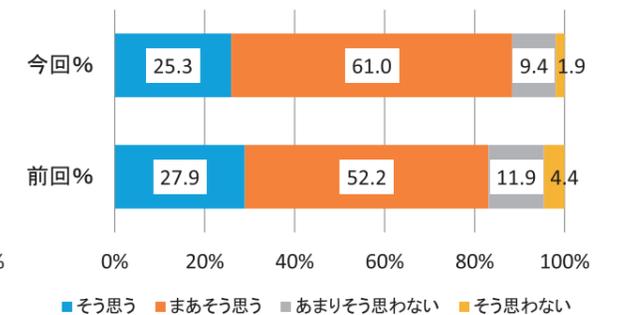
## ② 地域のために何か役に立ちたい



## ③ 今後もこの地域に住み続けたい

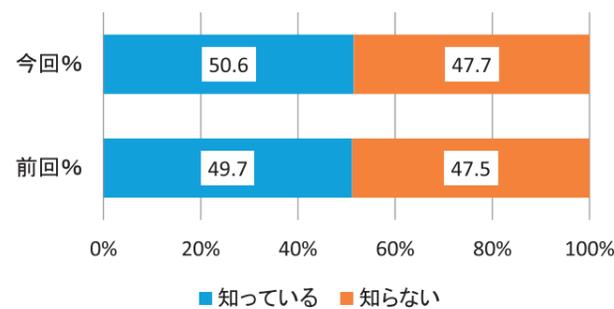


## ④ 今の生活に満足している

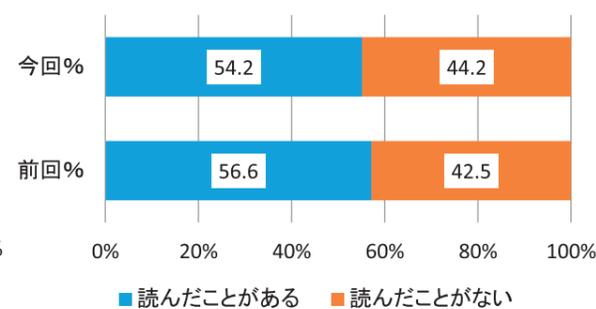


大内地域について尋ねた問いでは、どの項目も前回の調査結果より肯定意見が増えていました。特に、上記の4つ(①地域のまともり、②地域の役に立ちたい、③地域に住み続けたい、④今の生活に満足か)の項目は、前回調査よりも肯定意見が5ポイント以上増加していることから、この5年間で、大内地域を肯定的に捉える住民が増えていることが分かります。

## 問26A まちづくり協議会だよりの認知度



## 問26B まちづくり協議会だよりの利用度



問26は、まちづくり協議会だよりについて尋ねています。前回の調査結果とほとんど変わりがなく、むしろ読んだことがある人が減っているという残念な結果でした。まちづくり協議会だよりが年2回の発行では、認知度も上がり、読む人も増えにくいのだろうと反省しています。

今回のアンケートで、広報活動が弱いという課題が見つかりました。さらに、災害(水害)対策問題や農業試験場の跡地利用問題も課題であることが分かりました。この調査結果をしっかりと受け止め、次期まちづくり計画に反映させ、改善していきたいと考えています。